

田尻町文化財調査報告 第16集

田尻町内遺跡群発掘調査概要 9

2008.3

泉南郡田尻町教育委員会

正誤表

頁	箇所	誤	正
P2	表3の3行目、4行目	土壌	土坑
	5行目	粘土探掘坑	粘土探掘坑
	16行目	土壌	土坑
P3	7行目	粘土探掘坑	粘土探掘坑
	19行目、23行目	土壌	土坑
P10	4行目、5行目、6行目、15行目、16行目、36行目	土壌	土坑
	12行目	粘土探掘坑	粘土探掘坑
	挿図14	土壌	土坑
P11	12行目、17行目	土壌	土坑
	19行目	粘土探掘坑	粘土探掘坑
	20行目、33行目、34行目	土壌	土坑
	挿図15、挿図16	土壌	土坑
P12	1行目、4行目、6行目、8行目、15行目、挿図17	土壌	土坑
P13	4行目、7行目、15行目	土壌	土坑
	報告書抄録20行中の20行目	土壌	土坑

はじめに

埋蔵文化財（遺物・遺構）を包蔵している遺跡は、普段は私達の目に触れることは、ほとんどありません。地中の中で永い年月の間、遺構や遺物などの埋蔵文化財は保存されてきました。しかし、近年開発等による掘削工事により埋蔵文化財が破壊されてきています。

遺跡には、先人達の大切なメッセージが埋蔵文化財として託されています。そのメッセージを現在の町民、更には未来の町民に伝えてゆかなければなりません。

本書は、平成19年度埋蔵文化財国庫補助事業として出尻町教育委員会が実施した開発確認調査や試掘調査の成果を収録しています。この地域の歴史像をさらに豊かにするための資料として活用していただければ幸いです。

概要を報告するに当たり、調査にご協力いただいた地元の方々並びに関係各位にお礼申し上げますとともに、今後とも文化財保護にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年3月31日

泉南郡出尻町教育委員会
教育長 二澤 隆史

例 言

1. 本書は、泉南郡田尻町教育委員会が平成19年度に国庫補助金を受けて実施した、大阪府泉南郡田尻町域における埋蔵文化財緊急発掘調査の概要報告である。
2. 調査は泉南郡田尻町教育委員会学事課文化財保護係 中野篤史を担当者として、平成19年4月1日に着手し、平成20年3月31日に終了した。
3. 本書における図面の標高はT.P.（東京湾平均潮位）を用い、また方位については磁北を示す。
4. 調査の実施にあたっては、下記の諸氏の参加協力を得た。
阪田裕美子、河瀬一裕
5. 現地調査にあたっては、土地所有者をはじめとする工事関係者等多くの方々の協力を得た。感謝の意を表する。
6. 本書の執筆、編集は中野、阪田がおこなった。
7. 本書は、平成19年1月から平成19年12月までに実施した調査を掲載し、平成20年1月以降分については、次年度の概要報告書に掲載する。

目 次

第1章 埋蔵文化財調査の現状

1. 田尻町の位置と環境	1
2. 平成19年度の埋蔵文化財調査の現状	1
3. 各遺跡の概要	2

第2章 調査の概要

各種開発確認調査 01	5
各種開発確認調査 02	6
各種開発確認調査 03	7
各種開発確認調査 04	9
まとめ	13

報告書抄録	巻末
-------------	----

挿 図

図1 田尻町位置図	1
図2 遺跡分布図	4
図3 調査地点位置図(各種開発確認調査01)	5
図4 調査区設定図(各種開発確認調査01)	5
図5 トレンチ断面図(各種開発確認調査01)	6
図6 調査地点位置図(各種開発確認調査02)	6
図7 調査区設定図(各種開発確認調査02)	7
図8 トレンチ断面図(各種開発確認調査02)	7
図9 調査地点位置図(各種開発確認調査03)	8
図10 調査区設定図(各種開発確認調査03)	8
図11 トレンチ断面図(各種開発確認調査03)	9
図12 調査地点位置図(各種開発確認調査04)	9
図13 調査区設定図(各種開発確認調査04)	10
図14 トレンチ1断面図、平面図(各種開発確認調査04)	10
図15 トレンチ2断面図、平面図(各種開発確認調査04)	11
図16 トレンチ3断面図、平面図(各種開発確認調査04)	11
図17 トレンチ4断面図、平面図(各種開発確認調査04)	12

挿 表

表 1 過去 5 年間の届出件数表	1
表 2 遺跡別発掘届出件数表	1
表 3 届出・通知・試掘依頼一覧	2

図 版

図版 1 トレンチ 2 断面 (各種開発確認調査01)	トレンチ 3 断面 (各種開発確認調査01)
図版 2 トレンチ 1 全景 (各種開発確認調査02)	トレンチ 2 全景 (各種開発確認調査02)
図版 3 トレンチ 1 全景 (各種開発確認調査03)	トレンチ 2 全景 (各種開発確認調査03)
図版 4 トレンチ 1 全景 (各種開発確認調査04)	トレンチ 2 全景 (各種開発確認調査04)
図版 5 トレンチ 3 全景 (各種開発確認調査04)	トレンチ 4 全景 (各種開発確認調査04)

第1章 文化財調査の状況

1. 田尻町の位置と環境

田尻町は大阪府の南西部、大阪湾海岸線の中央部に位置し、東は泉佐野市、南西は泉南市に接し、北西は大阪湾に面する。町域の面積は約4.7平方kmである。海岸線に並行して南海本線が、町城南部を国道26号線がとおり、泉南地域の基幹交通路となっている。町域の北東部から中央部にかけて田尻川、南西部を樫井川が流れ大阪湾に注いでいる。

2. 平成19年度の埋蔵文化財調査の現状

田尻町は、近年の財政状況の悪化により公共工事が減少し、民間の小規模な分譲住宅や共同住宅等の開発が多くなりつつある。

平成19年度における文化財保護法第93条、第94条に基づく土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出は4件である。そのうち民間開発が1件、個人住宅建築が2件、公共工事が1件となっている。また、遺跡範囲外での各種開発確認調査のための試掘依頼の件数は1件となっている。過去5年間の文化財保護法関係の届出件数は表1、表2のとおりである。また、平成19年度調査地は表3のとおりである



図1 田尻町位置図

	個人住宅	民間開発	公共工事	合計
平成15年度	4	1	1	6
平成16年度	2	1	2	5
平成17年度	0	17	0	17
平成18年度	1	6	2	9
平成19年度	2	1	1	4

(遺跡発見届出を含む)

表1 過去5年間の届出件数表

番号	遺跡名	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
1	田尻遺跡	5	2	1	5	4
2	夫婦池遺跡					
3	船岡山遺跡		1	1	1	
4	嘉祥神社本殿					
5	船岡山南遺跡					
6	藤波遺跡					
7	吉見藩陣屋跡		2	2		
8	羽倉崎遺跡	1				
9	樫井西遺跡					
10	林岬遺跡					
11	中島遺跡			13	3	

(遺跡発見届出を含む)

表2 遺跡別発掘届出件数表

	申請者	申請地	原因	遺跡名	指導事項	検出遺構	出土遺物
1	民間開発事業者	田尻町大字嘉祥寺地内	共同住宅	範囲外	開発確認	なし	陶磁器、瓦
2	個人開発事業者	田尻町大字吉見地内	共同住宅	田尻遺跡	発掘調査	土壌、スキ溝、溝	土師器、須恵器、瓦器、陶磁器
3	大阪府	田尻町大字吉見地内	道路拡幅	田尻遺跡	発掘調査	土壌、井戸	土師器、須恵器、瓦器、陶磁器
4	個人	田尻町大字吉見地内	宅地造成	田尻遺跡	発掘調査	なし	土師器、須恵器、瓦器
5	個人開発事業者	田尻町大字嘉祥寺地内	共同住宅	範囲外	開発確認	なし	陶磁器、瓦
6	個人	田尻町大字吉見地内	個人住宅	田尻遺跡	慎重工事		

※太字は文化財保護法に基づく届出・通知

表3 届出・通知・試掘依頼一覧

3. 各遺跡の概要

1. 田尻遺跡

田尻遺跡は、木町の中央部に標高5m～7mにかけて位置する古墳時代から中世にかけての遺物散布地である。これまでに20カ所の調査を実施しているが、各調査の調査面積が狭小なため、遺跡の性格は不明である。これまでの調査で中世から近世にかけての粘土採掘坑や古墳時代から奈良時代ごろと思われる小規模な溝などが、検出されている。須恵器・土師器・瓦器・陶磁器・瓦など古墳時代から近世にかけての遺物が出上している。

2. 夫婦池遺跡

夫婦池遺跡は、田尻町の南部、泉佐野市にまたがる、標高7m～9mにかけて位置する弥生時代から古墳時代にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝状遺構、井戸、柱穴群、スキ溝が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器・陶磁器などが出土している。

3. 船岡山遺跡

船岡山遺跡は、田尻町の東部、泉佐野市にまたがる、樫井川の右岸に沿う沖積段丘上に位置する縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての遺物包含層がある遺跡である。これまでに大阪府教育委員会、泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝、土城、柱穴が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器が出土している。

4. 嘉祥神社本殿

桃山建築様式を伝える江戸時代初期の神社建築物。大阪府指定文化財。

5. 船岡山南遺跡

田尻町の南東部、泉佐野市に広がる標高8m～10mに位置する弥生時代～中世にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市域で調査がおこなわれているが、遺構は検出されていない。遺物は土師器、瓦器が出土している。

6. 藤波遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～12mに位置する中世の遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で、溝、ピットが検出されている。遺物は瓦器、土師器、陶磁器が出土している。

7. 吉見蒲陣屋跡

田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高4m～5mに位置する中世～近世にかけての遺物散布地である。これまでの調査では、粘土採掘痕などが検出されている。遺物は、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器が出土している。

なお、遺跡内には大阪府指定有形文化財（建造物）田尻歴史館（旧谷口家吉見別邸）がある。

8. 羽倉崎遺跡

田尻町の北東部、主に泉佐野市に広がる標高3m～6mに位置する古墳時代の遺物散布地である。これまでの調査では、遺構は検出されていない。遺物は土師器が出土している。

9. 櫻井西遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～11mに位置する弥生～中世の遺跡である。これまでの泉佐野市教育委員会の調査で、弥生時代中期の方形周溝墓、中世の掘立柱建物址などが検出されている。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、陶磁器が出土している。

10. 林寄遺跡

田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高2m～4mに位置する近世墓地跡である。近代に移転された。これまでの調査により土壌、スキ溝などが検出されている。遺物は、陶磁器のほか弥生土器、土師器が出土している。

11. 中島遺跡

田尻町の中央部に所在する標高4mに位置する中世～近世の集落跡である。平成15年度に実施した試掘調査により新規に発見した。土壌、小穴等の遺構が検出されている。遺物は瓦器、土師器が出土している。

遺跡地名表

№	遺跡名	種類	時代	構造物	立地	概要
1	田代遺跡	私有地	古物	田・宅跡	平法	土師器、瓦葺屋(私有地)
2	大塚池遺跡	私有地	弥生・古墳	池跡・畑跡	平法	土師器、銅器、石製石室(私有地)
3	沼崎山遺跡	私有地	縄文・弥生	田・畑跡	平法	弥生土器(敷島跡)
4	藤原神社本殿	社遺物	古墳		平法	新羅系土器(藤原神社跡)
5	沼崎山西遺跡	私有地	弥生・古墳	田・畑跡	平法	
6	座間遺跡	私有地・農道跡	中世	田	平法	
7	古宮湯島別荘	跡田跡	中世	宅跡	平法	堀原江春日神社と湯島別荘
8	沼崎山遺跡	私有地	古物	宅跡	平法	
9	池井西遺跡	農道跡	弥生・中世	田	平法	
10	林与遺跡	その他跡	古墳	宅跡	平法	陶磁器、弥生土器
11	中島遺跡	農道跡	中世	宅跡	平法	土師器、土師器、瓦葺

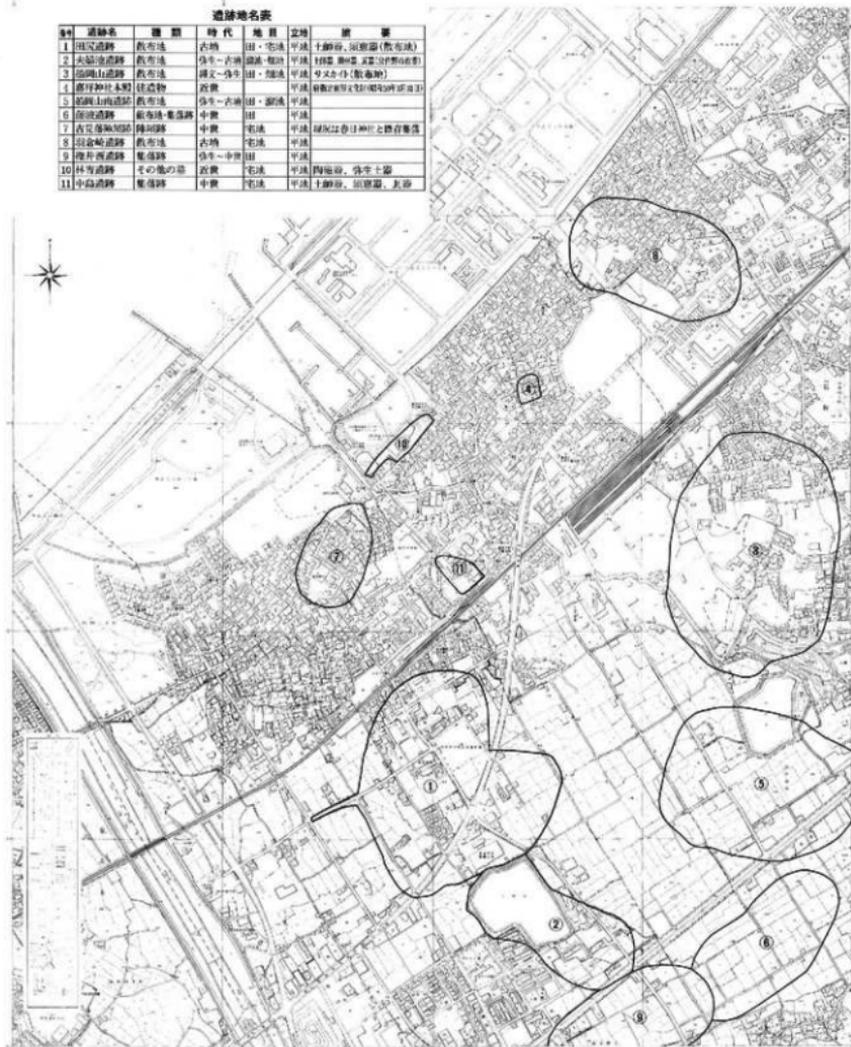


図2 遺跡分布図

第2章 調査の概要

各種開発確認調査01

1. 遺跡名 範囲外
2. 申請者 民間開発事業者
3. 調査地 田尻町大字嘉祥寺地内
4. 調査原因 分譲住宅
5. 申請面積 2,501.96㎡
6. 調査面積 6㎡
7. 調査期間 平成19年1月25日
～1月26日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査の概要

今回の調査は分譲住宅建築の宅地造成に伴う試掘調査である。調査地は、旧来の嘉祥寺地区集落の海浜部の標高3.5mに位置している。調査地は孝子越街道（「浜街道」ともいう。）に面し、付近には南東側に桃山建築様式の嘉祥神社本殿（江戸時代初期、大阪府指定有形文化財）や真光寺の近世社寺がある。また南西部には近世墓地跡の林寄遺跡がある。

調査は、開発区域内に調査区を3カ所設定し、6㎡について実施した。

トレンチ1

開発区域内道路予定地の南側に幅1m、長さ2mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行った。トレンチ1の層序は上から盛土（層厚約50cm）、暗褐色土（10YR3/3、層厚約30cm）、にぶい黄褐色砂（10YR4/3）の順である。遺構、遺物は検出されなかった。



図3 調査地点位置図 (1/5,000)

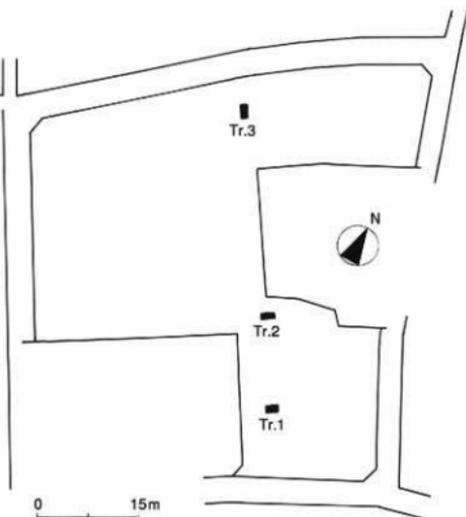


図4 調査区設定図 (1/800)

トレンチ2

道路予定地の中央部に幅1m、長さ2mの調査区を設定し、トレンチ1と同様に調査を進めた。トレンチ2の層序も上から盛土(層厚約30cm)、整地層(盛土、層厚約25cm)、暗褐色土(10YR3/3、層厚約10cm)、にぶい黄褐色砂(10YR4/3)の順である。遺構、遺物は検出されなかった。

トレンチ3

道路予定地の北側に幅1m、長さ2mの調査区を設定し、トレンチ1と同様に調査を進めた。トレンチ3の層序は上から盛土(層厚約40cm)、整地層(盛土、10YR3/3、層厚約30cm)、にぶい黄褐色砂(10YR4/3)の順である。遺構はなく、遺物は近世瓦が出土している。

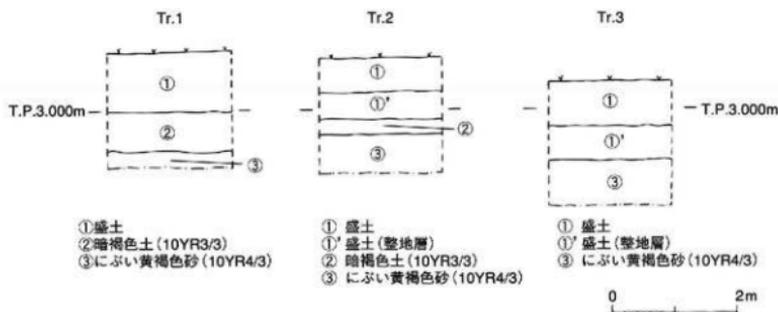


図5 トレンチ断面図(縦1/40、横1/80)

各種開発確認調査02

1. 遺跡名 田尻遺跡
2. 申請者 個人
3. 調査地 田尻町大字吉見地内
4. 調査原因 宅地造成
5. 申請面積 368㎡
6. 調査面積 10㎡
7. 調査期間 平成19年8月7日
～8月10日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査の概要

今回の調査は個人住宅建築のための宅地造成に伴うもので、田尻遺跡の第23次調査にあたる。これまでの田尻遺跡の調査で弥



図6 調査地点位置図(1/5,000)

生時代から古墳時代にかけての溝、近世の粘土採掘上坑が確認されている。調査地は、町の中央部、標高5mに位置している。

調査は宅地造成区域内に2カ所の調査区を設定し、10m²について実施した。

トレンチ1

調査地の北部に幅2m、長さ2.5mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削し調査を実施した。トレンチの層序は上から褐灰色土(耕土、10YR4/1、層厚約20cm)、褐色土(床土、10YR4/4、層厚約10cm)、灰黄褐色砂質土(10YR4/2、層厚約30cm)、褐色粘質土(地山、10YR4/4)の順に堆積している。遺構はなく、遺物は土師器、須恵器、瓦器の細片が出上している。

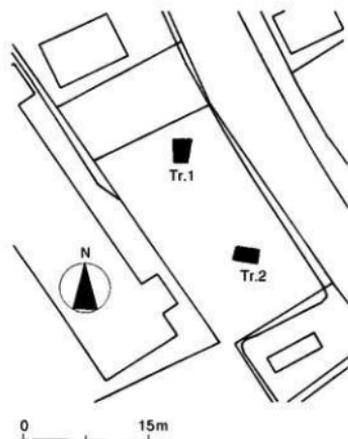


図7 調査区設定図 (1/600)

トレンチ2

調査地の南部に幅1.5m、長さ3mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削し調査を実施した。トレンチの層序は上から褐灰色土(耕土、10YR4/1、層厚約15cm)、褐色土(床土、10YR4/4、層厚約10cm)、灰黄褐色砂質土(10YR4/2、層厚約30cm)、褐色粘質土(地山、10YR4/4)の順に堆積している。遺構はなく、遺物は土師器、須恵器の細片が出土している。

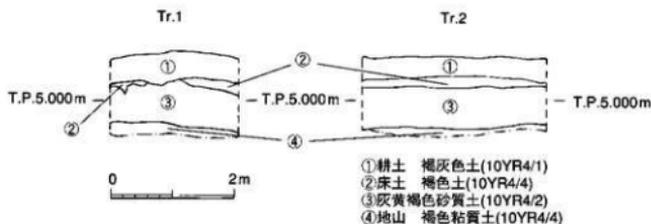


図8 トレンチ断面図 (縦1/40、横1/80)

各種開発確認調査03

1. 遺跡名 範囲外
2. 申請者 個人

3. 調査地 田尻町大字嘉祥寺地内
 4. 調査原因 共同住宅
 5. 申請面積 1,992.6㎡
 6. 調査面積 14㎡
 7. 調査期間 平成19年8月28日
 ～8月31日
 8. 調査機関名 田尻町教育委員会
 9. 調査の概要

今回の調査は共同住宅建築に伴う確認調査である。調査地は、旧来の嘉祥寺地区集落の海浜部の標高3.5mに位置している。調査地は孝子越街道（「浜街道」ともいう。）に面し、付近には南東側に桃山建築様式の嘉祥神社本殿（江戸時代初期、大阪府指定有形文化財）や真光寺の近世社寺があり、また南西側には近世墓跡の林寄遺跡、北東側に羽倉崎遺跡がある。先の報告（各種確認調査01）地点から北東方向へ100mほど離れた地点である。

調査は、開発区域内に調査区を2カ所設定し、14㎡について実施した。

トレンチ1

開発区域内南東部に幅1.5m、長さ3.5mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行った。トレンチ1の層序は上から盛土（層厚約20～60cm）、褐灰色砂（10YR4/1、層厚約40cm）、黒褐色砂質土（10YR3/2、層厚約20cm）、暗灰黄色砂（2.5Y4/2）の順である。遺構、遺物は検出されなかった。

トレンチ2

開発区域内北東部に幅2m、長さ4mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行った。トレンチ2の層序は、上から盛土（層厚約20cm）、暗褐色砂質土（10YR3/3、20cm）、にぶい黄褐色砂（10YR5/3、層厚約20cm）、にぶい黄褐色砂（10YR4/3、層厚約20cm）、黒褐色土（整地層、10YR3/2、層厚約40cm）、黒褐色砂質土（10YR3/1）の順である。遺構はなく、遺物は黒褐色土より陶磁器、瓦の破片が出土している。



図9 調査地点位置図 (1/5,000)

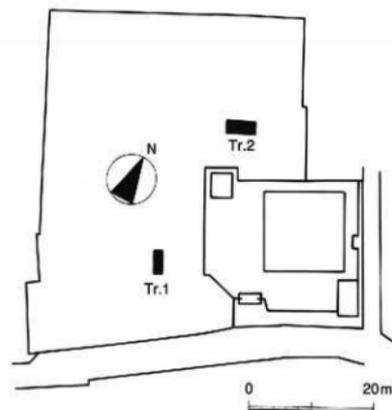


図10 調査区設定図 (1/800)

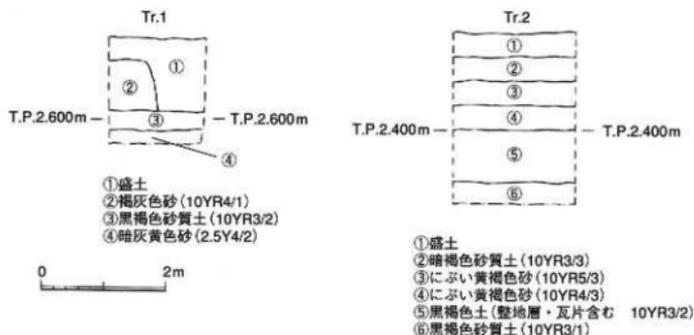


図11 トレンチ断面図 (縦1/40、横1/80)

各種開発確認調査04

1. 遺跡名 田尻遺跡
2. 申請者 個人
3. 調査地 田尻町大字吉見地内
4. 調査原因 共同住宅
5. 申請面積 2,463.17㎡
6. 調査面積 39㎡
7. 調査期間 平成19年10月29日
～11月8日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査の概要

今回の調査は共同住宅建築に伴うもので、田尻遺跡の第25次調査にあたる。これまでの田尻遺跡の調査で弥生時代から古墳時代にかけての溝や近世の粘土採掘土坑が確認されている。調査地は、町の中央部、標高5mに位置している。

調査は、開発区域内に4カ所の調査区を設定し、39㎡について調査を実施した。



図12 調査地点位置図 (1/5,000)

トレンチ1

今回の調査地の北側に幅1.5m、長さ6.5mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行った。調査区の層序は、上から耕土(層厚約10cm)、暗褐色土(10YR3/3、層厚約5cm)、

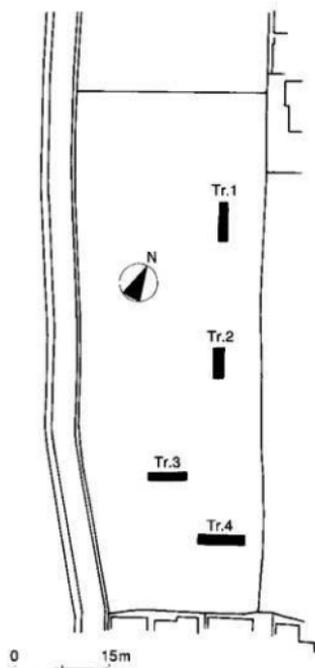


図13 調査区設定図 (1/800)

にぶい黄褐色粘質土 (10YR4/3、層厚約10cm)、オリーブ褐色粘質土 (地山、2.5Y4/3) の順である。遺物包含層より土師器、陶器の破片が出土している。遺構は上墳を2基検出した。

土塚1 調査区の東側で遺構の一部を検出した土塚である。検出幅35cm、検出長6m30cm、深さ74cmを測り、遺構の埋土はにぶい黄褐色粘質土 (10YR4/3) である。四段になって徐々に深く掘削されていた。地山から一段目まで26cm、一段目から二段目まで17cm、二段目から三段目まで24cm、三段目から四段目まで7cmとなっている。田尻遺跡でよく検出される近世の粘土採掘場であるが段落ちになっているのは珍しい。遺物は出土していない。

土塚2 調査区の南側で検出した円形と思われる土塚である。検出幅50cm、検出長4m5cm、深さ12.4cmを測る。遺構の埋土は黒褐色粘質土 (2.5Y3/1) である。遺物は出土していない。

トレンチ2

調査地の中部に幅1.5m、長さ4mの調査区を設定し調査を実施した。調査区の層序は上から耕

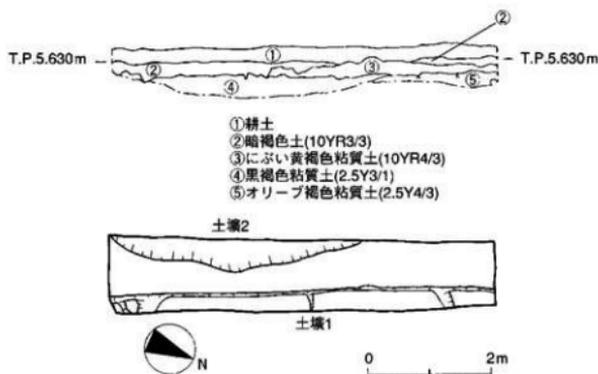


図14 トレンチ1断面図(縦1/40、横1/80)、平面図(1/80)

土(層厚約10cm)、黄褐色粘質土(床上、2.5Y5/3、層厚約5cm)、にぶい黄褐色粘質土 (10YR4/3、層厚約5cm)、オリーブ褐色粘質土(地山、2.5Y4/3) の順に堆積している。遺物包含層より土師器、須恵器の破片が出土している。遺構は溝1条、土

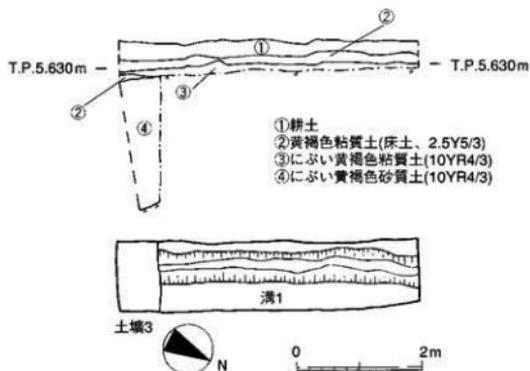


図15 トレンチ2断面図(縦1/40、横1/80)、平面図(1/80)

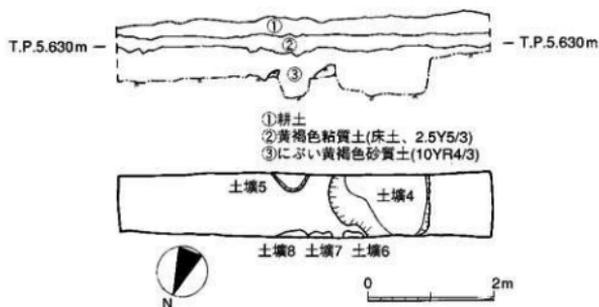


図16 トレンチ3断面図(縦1/40、横1/80)、平面図(1/80)

墳1基を検出した。

溝1 調査区内中央部で南東から北西方向に延びる溝を検出した。溝の幅は約50cm、検出長約4m20cm、深さ約13cmを測る。遺構の埋土はにぶい黄褐色粘質土(10YR4/3)である。南東部で土塚3に切られている耕作に伴うスキ溝である。遺物は出土していない。

土塚3 調査区南東部で検出した粘土採掘墳である。検出した土塚の規模は幅約70cm、長さ1m15cm、深さ約1m10cmを測る。遺構の埋土はにぶい黄褐色砂質土(10YR4/3)

である。遺物は出土していない。

トレンチ3

調査地の南部に幅1.5m、長さ6mの調査区を設定し調査を実施した。調査区の層序は上から耕上(層厚約15cm)、黄褐色粘質土(床土、2.5Y5/3、層厚約10cm)、にぶい黄褐色砂質土(10YR4/3、層厚約5~25cm)、オリーブ褐色粘質土(地山、2.5Y4/3)の順に堆積している。遺物は包含層より土師器、須恵器の破片が出土している。遺構は土塚5基を検出した。

土塚4 調査区の西部で検出した土塚である。検出した土塚の規模は幅約1m、長さ約1m60cm、深さ約17cmを測る。遺構の埋土はにぶい黄褐色砂質土(10YR4/3)である。遺物は出土していない。

土壌5 調査区の中央部で検出した土壌である。検出した土壌の規模は幅約30cm、長さ約65cm、深さ約16cmを測る。遺構の埋土はにぶい黄褐色砂質土 (10YR4/3) である。遺物は出土していない。

土壌6 調査区の中央部で検出した土壌である。検出規模は幅約10cm、長さ約35cm、深さ約10cmを測る。遺構の埋土はにぶい黄褐色砂質土 (10YR4/3) である。遺物は出土していない。

土壌7 調査区の中央部で検出した土壌である。検出規模は幅約10cm、長さ約90cm、深さ約10cmを測る。遺構の埋土はにぶい黄褐色砂質土 (10YR4/3) である。遺物は出土していない。

土壌8 調査区の中央部で検出した土壌で、検出規模は幅約10cm、長さ約60cm、深さ14cmを測る。埋土はにぶい黄褐色砂質土 (10YR4/3) で、遺物は出土していない。

トレンチ4

調査地の南部に幅 1m、長さ 8m の調査区を設定し調査を実施した。調査区の層序は上から耕土 (層厚約10cm)、黄褐色粘質土 (床土、2.5Y5/3、層厚約 7cm)、灰黄褐色粘質土 (10YR4/2、層厚約 5cm)、オリーブ褐色粘質土 (地山、2.5Y4/3) の順に堆積している。遺物は包含層より土師器、須恵器の破片が出土している。遺構は溝 4 条、土壌 2 基を検出した。

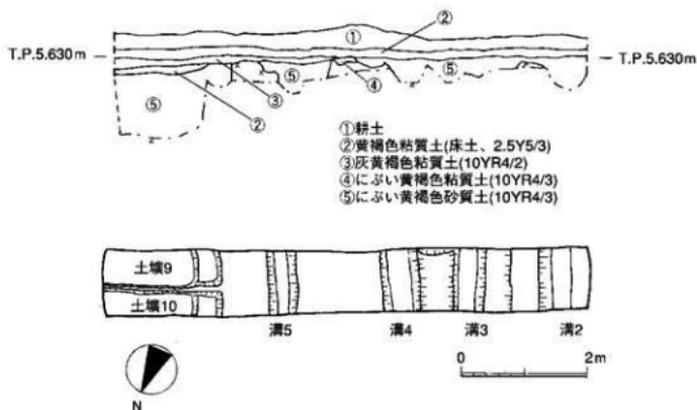


図17 トレンチ4断面図(縦1/40、横1/80)、平面図(1/80)

溝2 調査区の西端で検出した溝である。検出規模は幅約80cm、深さ約14cmを測り、埋土はにぶい黄褐色砂質土 (10YR4/3) である。遺物は出土していない。

溝3 調査区の西部で検出した溝である。検出規模は幅約90cm、深さ約14cmを測り、埋土はにぶい黄褐色砂質土 (10YR4/3) である。遺物は土師器の細片が出土している。

溝4 調査区の中央部で検出した溝である。検出規模は幅約65cm、深さ約15cmを測り、埋土は

にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）である。遺物は土師器、瓦器の細片が出土している。

溝5 調査区の西部で検出した溝である。検出規模は幅約47cm、深さ約14cmを測り、埋土はにぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）である。遺物は土師器の細片が出土している。

土壌9 調査区の東端で検出した粘土採掘壕である。検出規模は幅約60cm、長さ約1m90cm、深さ約45cmを測り、埋土はにぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）である。遺物は瓦器の細片が出土している。

土壌10 調査区の東端で検出した粘土採掘壕である。検出規模は幅約40cm、長さ約1m90cm、深さ約26cmを測り、埋土はにぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）である。遺物は瓦器の細片が出土している。

まとめ

本年度の調査の結果、開発確認調査01～03では顕著な遺構は検出されなかったが、確認調査04において、遺構を検出することができた。04において検出した遺構の多くは、近世（あるいは近代）の粘土採掘上壕であり、これまでの調査においても田尻遺跡からは数多く検出している。黄色っぽい粘質土（地山）を採掘したものであり、方形な形でほぼ垂直に掘削されているのが特徴である。深さは黄色っぽい粘土がなくなる下層の粘土面直上まで掘り下げているものもあれば、少しだけしか掘っていないものもある。大きさも深さもまちまちであり、粘土採掘壕の統一性は今のところ見受けられない。粘土を採取した目的については、瓦焼成のため、木田に床土を貼るため、墾土用などの用途が考えられている。

今後も小規模ではあるが確認調査をとおして、遺跡についての詳細が明らかとなることを期したい。

（参考文献）

書名	編集・発行	発行年
『泉佐野市所在遺跡発掘調査概要Ⅰ』	泉佐野市教育委員会	1981.3
『昭和56年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ』	泉佐野市教育委員会	1982.3
『大阪府文化財調査概要 1984年度』所収		
『田山遺跡発掘調査概要 付章 田尻遺跡の調査』	大阪府教育委員会	1985.3
『昭和60年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅲ』	泉佐野市教育委員会	1986.3
『大姉池遺跡発掘調査報告書』	泉佐野市教育委員会	1986.3
『昭和61年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅳ』	泉佐野市教育委員会	1987.3
『昭和62年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅴ』	泉佐野市教育委員会	1988.3
『昭和62年度 田尻遺跡・船岡山遺跡発掘調査概要』	大阪府教育委員会	1988.3
『昭和63年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅵ』	泉佐野市教育委員会	1989.3
『平成2年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅶ』	泉佐野市教育委員会	1991.3
『泉南郡遺跡群発掘調査概要・Ⅲ』	大阪府教育委員会	1993.3

『山尻遺跡発掘調査概要』		山尻町教育委員会	1994.7
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成6年度』	平成6年度	泉佐野市教育委員会	1995.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 第22号』	第22号	泉佐野市教育委員会	1996.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成9年度』	平成9年度	泉佐野市教育委員会	1998.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成10年度』	平成10年度	泉佐野市教育委員会	1999.3
『山尻町内遺跡群発掘調査概要 1』		山尻町教育委員会	2000.3
『山尻町内遺跡群発掘調査概要 2』		山尻町教育委員会	2001.3
『平成12年度 山尻遺跡発掘調査概要』		山尻町教育委員会	2001.3
『山尻町内遺跡群詳細分布調査概要』		山尻町教育委員会	2001.3
『山尻町内遺跡群発掘調査概要 3』		山尻町教育委員会	2002.3
『山尻町内遺跡群発掘調査概要 4』		山尻町教育委員会	2003.3
『山尻町内遺跡群発掘調査概要 5』		山尻町教育委員会	2004.3
『山尻町内遺跡群発掘調査概要 6』		山尻町教育委員会	2005.3
『山尻町内遺跡群発掘調査概要 7』		山尻町教育委員会	2006.3
『山尻町内遺跡群発掘調査概要 8』		山尻町教育委員会	2007.3

圖 版



トレンチ2断面 (各種開発確認調査01)



トレンチ3断面 (各種開発確認調査01)



トレンチ1全景 (各種開発確認調査02)



トレンチ2全景 (各種開発確認調査02)



トレンチ1全景 (各種開発確認調査03)



トレンチ2全景 (各種開発確認調査03)



トレンチ1全景 (各種開発確認調査04)



トレンチ2全景 (各種開発確認調査04)



トレンチ3全景 (各種開発確認調査04)



トレンチ4全景 (各種開発確認調査04)

報 告 書 抄 録

ふりがな		たじりちようないいせきぐんはくつちようまがいよう						
書名		田尻町内遺跡群発掘調査概要						
副書名								
巻次		9						
シリーズ名		田尻町文化財調査報告						
シリーズ番号		第16集						
編著者名		阪田裕美子、中野篤史						
編集機関		泉南郡田尻町教育委員会						
所在地		大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺375番地の1						
発行年月日		2008年3月31日						
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
遺跡範囲外	大阪府 泉南郡 田尻町 嘉祥寺			34° 39' 804"	135° 29' 139"	平成19年 1月25日～ 1月26日	6	分譲住宅 建築
田尻遺跡 第23次	大阪府 泉南郡 田尻町 古見			34° 38' 982"	135° 28' 972"	平成19年 8月7日～ 8月10日	10	個人住宅 宅地造成・ 建築
遺跡範囲外	大阪府 泉南郡 田尻町 嘉祥寺			34° 39' 856"	135° 29' 261"	平成19年 8月28日～ 8月31日	14	共同住宅 建築
田尻遺跡 第25次	大阪府 泉南郡 田尻町 古見			34° 38' 842"	135° 28' 985"	平成19年 10月29日～ 11月8日	39	共同住宅 建築
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
遺跡範囲外			なし	瓦				
田尻遺跡 第23次	散布地	近世	なし	土師器、須恵器、 瓦器				
遺跡範囲外			なし	陶磁器、瓦				
田尻遺跡 第25次	散布地	近世	溝、土城	土師器、須恵器、 瓦器				

田尻町文化財調査報告 第16集

田尻町内遺跡群発掘調査概要9

2008年3月

編集・発行 泉南郡田尻町教育委員会

〒598-8588

大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺375番地の1

TEL.072-466-8801

印刷 小笠原印刷株式会社
大阪府泉佐野市新安松2丁目4-1

